

指定管理者事業評価 総括評価調書

1 施設状況・事業収支

		調書作成年度		令和6年度			
施設名称	中野市福祉ふれあいセンター及び中野市さんさん館	所管部課		健康福祉部福祉課			
指定管理者	社会福祉法人 中野市社会福祉協議会	作成者		宮崎			
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	利用料金		指定管理料			
施設設置目的	身体障がい者及び心身障がい者の福祉の増進を図る						
施設の概要	福祉ふれあいセンター(身体障がい者福祉センター、母子通園訓練施設、共同作業訓練施設)、福祉ふれあいセンター永田分場(共同作業訓練施設)、さんさん館(介護予防拠点施設)						
主な実施事業	福祉ふれあいセンター: 条例に定める事業(身体障がい者福祉、母子通園、共同作業訓練) さんさん館: 施設の管理運営、維持管理及び保守管理						
施設利用状況	利用区分等(単位)	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	利用者数(人)	別紙のとおり					
委託料	指定管理料						
市収入額 (使用料等)	年度	収入	年度	収入	支出	収支	
		平成31年度		46,787,000			平成31年度
	(単位:円)	令和2年度	46,538,000	令和2年度	47,874,688	47,445,171	429,517
		令和3年度	46,599,000	令和3年度	47,080,917	45,220,783	1,860,134
		令和4年度	47,076,000	令和4年度	49,820,334	45,783,743	4,036,591
		令和5年度	46,885,000	令和5年度	51,008,491	48,917,800	2,090,691

2 年度評価

評価区分	評価内容	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価
(1)市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。										
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。										
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。										
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。										
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。										
(2)財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか。										
	② 収入を増加するための取り組みがなされ、その効果があったか。										
	③ 管理運営経費を低減するための取組がなされ、その効果があったか。										
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。										
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。										
(3)業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。										
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めたとおり実施したか。										
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。										
	④ デジタル化への対応を行ったか。										
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。										
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。										
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。										
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。										
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。										
(4)人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。										
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。										
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。										
	④ 労働関係法令を遵守したか。										
総合評価	別紙のとおり										

### 3 改善指導状況

改善指導状況	年度	改善指導内容
	2～5	利用者の増加に繋がる方策を求めた。
	5	事業収入の減少に対する分析と収入増に繋がる方策を求めた。
	5	安心・安全な環境を確保するよう求めた。

### 4 総括評価及び所見

評価基準による総括評価	評価区分	評価	施設所管課長 所見
	(1)市民の視点	B	・新型コロナウイルス感染症の影響が生じ、施設を管理するうえでは大変な状況であった期間でもありながら、利用者にとって安心・安全な環境を確保し、利用者ニーズに沿った講座や就労の機会や訓練時間を増やす取り組みを行うなど、良好な管理運営が遂行できたと評価できる。
	(2)財務の視点	B	
	(3)業務の視点	B	
	(4)人材の視点	B	
<b>総括評価</b>	<b>B</b>		

#### ☆評価基準

総括評価【参考】	評価基準
S（優良）	B・Cがなく、Sが2つ以上の場合
A（良好）	B・Cがない場合
B（一部改善）	Cがなく、Bが1つ以上の場合
C（抜本的改善）	上記以外

### 5 選定委員会による総括評価

選定委員による評価について、指定管理期間の全体を通して運営上の改善がみられた場合や、施設の事情などを鑑みて評価します。なお、評価基準による評価は行いません。

<b>総括評価</b>	<b>B</b>	<b>委員会所見</b>	施設所管課長所見のとおり
-------------	----------	--------------	--------------

施設状況・事業収支

	利用区分等(単位)	平成31年度実績	平成30年度実績	30—31比較
施設利用状況	施設利用状況合計(延べ人数)	16,737	15,388	108.8%
	身体障害者福祉センター 利用者数	11,676	11,036	105.8%
	共同作業訓練施設 利用者数	2,608	2,628	99.2%
	母子通園訓練施設 利用者数	503	533	94.4%
	さんさん館 利用者数	1,404	555	253.0%
	永田分場 利用者数	546	636	85.8%
利用料金	利用料金合計(円)(利用者負担金)			

2 事業の実施状況

判定 ◎…良い ○…普通 △…劣る

評価区分	評価内容	身体障害者福祉センター	共同作業訓練施設	母子通園訓練施設	さんさん館	永田分場	評価
(1)市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	△	△	△	◎	△	B
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○	○	○	○	○	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。	○	○	○	○	○	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。	○	○	○	○	○	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。	○	○	○	○	○	
(2)財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか。	○	○	○	○	○	A
	② 収入を増加するための取り組みがなされ、その効果があったか。	○	○	○	○	○	
	③ 管理運営経費を低減するための取組がなされ、その効果があったか。	○	○	○	○	○	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	○	○	○	○	○	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	○	○	○	○	○	
(3)業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	○	○	○	○	○	A
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	○	○	○	○	○	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	○	○	○	○	○	
	④ デジタル化への対応を行ったか。	○	○	○	○	○	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	○	○	○	○	○	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	○	○	○	○	○	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	○	○	○	○	○	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	○	○	○	○	○	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	○	○	○	○	○	
(4)人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	○	○	○	○	○	A
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	○	○	○	○	○	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	○	○	○	○	○	
	④ 労働関係法令を遵守したか。	○	○	○	○	○	

## 施設状況・事業収支

	利用区分等(単位)	令和2年度実績	平成31年度実績	31—2比較	
施設利用状況	施設利用状況合計(延べ人数)	12,635	16,737	75.5%	
	身体障害者福祉センター 利用者数	7,916	11,676	67.8%	
	共同作業訓練施設 利用者数	2,708	2,608	103.8%	
	母子通園訓練施設 利用者数	403	503	80.1%	
	さんさん館 利用者数	1,084	1,404	77.2%	
	永田分場 利用者数	524	546	96.0%	
利用料金	利用料金合計(円)(利用者負担金)				

## 2 事業の実施状況

判定 ◎…良い ○…普通 △…劣る

評価区分	評価内容	身体障害者福祉センター	共同作業訓練施設	母子通園訓練施設	さんさん館	永田分場				評価
(1)市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	△	○	△	△	△				B
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○	○	○	○	○				
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。	○	○	○	○	○				
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。	○	○	○	○	○				
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。	○	○	○	○	○				
(2)財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか。	△	△	△	△	△				B
	② 収入を増加するための取り組みがなされ、その効果があったか。	○	○	○	○	○				
	③ 管理運営経費を低減するための取組がなされ、その効果があったか。	○	○	○	○	○				
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	○	○	○	○	○				
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	○	○	○	○	○				
(3)業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	○	○	○	○	○				A
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	○	○	○	○	○				
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	○	○	○	○	○				
	④ デジタル化への対応を行ったか。	○	○	○	○	○				
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	○	○	○	○	○				
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	○	○	○	○	○				
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	○	○	○	○	○				
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	○	○	○	○	○				
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	○	○	○	○	○				
(4)人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	○	○	○	○	○				A
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	○	○	○	○	○				
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	○	○	○	○	○				
	④ 労働関係法令を遵守したか。	○	○	○	○	○				

## 施設状況・事業収支

	利用区分等(単位)	令和3年度実績	令和2年度実績	2—3比較	
施設利用状況	施設利用状況合計(延べ人数)	13,070	12,635	103.4%	
	身体障害者福祉センター 利用者数	8,488	7,916	107.2%	
	共同作業訓練施設 利用者数	2,468	2,708	91.1%	
	母子通園訓練施設 利用者数	501	403	124.3%	
	さんさん館 利用者数	1,151	1,084	106.2%	
	永田分場 利用者数	462	524	88.2%	
利用料金	利用料金合計(円)(利用者負担金)				

## 2 事業の実施状況

判定 ◎…良い ○…普通 △…劣る

評価区分	評価内容	共同作業訓練施設	母子通園訓練施設	さんさん館	永田分場				評価
(1)市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	○	○	◎	○	△			A
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○	○	○	○	○			
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。	○	○	○	○	○			
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。	○	○	○	○	○			
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。	○	○	○	○	○			
(2)財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか。	○	○	○	○	○			A
	② 収入を増加するための取り組みがなされ、その効果があったか。	○	○	○	○	○			
	③ 管理運営経費を低減するための取組がなされ、その効果があったか。	○	○	○	○	○			
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	○	○	○	○	○			
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	○	○	○	○	○			
(3)業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	○	○	○	○	○			A
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	○	○	○	○	○			
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	○	○	○	○	○			
	④ デジタル化への対応を行ったか。	○	○	○	○	○			
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	○	○	○	○	○			
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	○	○	○	○	○			
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	○	○	○	○	○			
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	○	○	○	○	○			
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	○	○	○	○	○			
(4)人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	○	○	○	○	○			A
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	○	○	○	○	○			
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	○	○	○	○	○			
	④ 労働関係法令を遵守したか。	○	○	○	○	○			

## 施設状況・事業収支

	利用区分等(単位)	令和4年度実績	令和3年度実績	3—4比較	
施設利用状況	施設利用状況合計(延べ人数)	13,742	13,070	105.1%	
	身体障害者福祉センター 利用者数	9,111	8,488	107.3%	
	共同作業訓練施設 利用者数	2,369	2,468	96.0%	
	母子通園訓練施設 利用者数	399	501	79.6%	
	さんさん館 利用者数	1,325	1,151	115.1%	
	永田分場 利用者数	538	462	116.5%	
利用料金	利用料金合計(円)(利用者負担金)				

## 2 事業の実施状況

判定 ◎…良い ○…普通 △…劣る

評価区分	評価内容	身体障害者福祉センター	共同作業訓練施設	母子通園訓練施設	さんさん館	永田分場				評価
(1)市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	○	○	△	○	○				B
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○	○	○	○	○				
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。	○	○	○	○	○				
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。	○	○	○	○	○				
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。	○	○	○	○	○				
(2)財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか。	○	○	○	○	○				B
	② 収入を増加するための取り組みがなされ、その効果があったか。	○	○	○	○	○				
	③ 管理運営経費を低減するための取組がなされ、その効果があったか。	○	○	○	○	○				
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	○	○	○	○	○				
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	○	○	○	○	○				
(3)業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	○	○	○	○	○				B
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	○	○	○	○	○				
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	○	○	○	○	○				
	④ デジタル化への対応を行ったか。	○	○	○	○	○				
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	○	○	○	○	○				
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	○	○	○	○	○				
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	○	○	○	○	○				
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	○	○	○	○	○				
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	○	○	○	○	○				
(4)人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	○	○	○	○	○				B
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	○	○	○	○	○				
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	○	○	○	○	○				
	④ 労働関係法令を遵守したか。	○	○	○	○	○				

施設状況・事業収支

	利用区分等(単位)	令和5年度実績	令和4年度実績	4—5比較	
施設利用状況	施設利用状況合計(延べ人数)	14,178	13,742	103.2%	
	身体障害者福祉センター 利用者数	9,335	9,111	102.5%	
	共同作業訓練施設 利用者数	2,274	2,369	96.0%	
	母子通園訓練施設 利用者数	595	399	149.1%	
	さんさん館 利用者数	1,428	1,325	107.8%	
	永田分場 利用者数	546	538	101.5%	
利用料金	利用料金合計(円)(利用者負担金)				

2 事業の実施状況

判定 ◎・・・良い ○・・・普通 △・・・劣る

評価区分	評価内容	共同作業訓練施設	母子通園訓練施設	さんさん館	永田分場				評価
(1)市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	○	○	◎	○	○			B
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○	○	○	○	○			
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。	○	○	○	○	○			
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。	○	○	○	○	○			
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。	○	○	○	○	○			
(2)財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか。	○	○	○	○	○			B
	② 収入を増加するための取り組みがなされ、その効果があったか。	○	○	○	○	○			
	③ 管理運営経費を低減するための取組がなされ、その効果があったか。	○	○	○	○	○			
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	○	○	○	○	○			
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	○	○	○	○	○			
(3)業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	○	○	○	○	○			B
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	○	○	○	○	○			
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	○	○	○	○	○			
	④ デジタル化への対応を行ったか。	△	△	△	△	△			
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	○	○	○	○	○			
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	○	○	○	○	○			
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	○	○	○	○	○			
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	○	○	○	○	○			
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	○	○	○	○	○			
(4)人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	○	○	○	○	○			B
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	○	○	○	○	○			
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	○	○	○	○	○			
	④ 労働関係法令を遵守したか。	○	○	○	○	○			

指定管理者事業評価 総括評価調書

1 施設状況・事業収支

		調書作成年度		令和6年度			
施設名称	中野市精神障害者社会復帰施設	所管部課		健康福祉部福祉課			
指定管理者	社会福祉法人 中野市社会福祉協議会	作成者		宮崎			
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	利用料金		指定管理料・利用料金制			
施設設置目的	精神障がい者の社会復帰の促進を図る						
施設の概要	中野市りんごの木共同作業所(作業室、展示室、休憩室、食堂、事務室等) 中野市びあワーク就労支援施設(作業室、静養室、会議室、食堂、事務室等)						
主な実施事業	条例に定める事業(生活訓練、作業訓練、就労指導)						
施設利用状況	利用区分等(単位)	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	利用者数(人)	別紙のとおり					
委託料	指定管理料						
市収入額 (使用料等)  (単位:円)	年度	収入	指定期間 事業収支  (単位:円)	年度	収入	支出	収支
		平成31年度		12,950,000	平成31年度	72,885,557	73,195,559
	令和2年度	12,898,000		令和2年度	76,055,487	66,981,093	9,074,394
	令和3年度	12,765,000		令和3年度	79,305,878	72,763,636	6,542,242
	令和4年度	12,984,000		令和4年度	90,518,018	70,867,309	19,650,709
	令和5年度	12,984,000		令和5年度	91,708,447	62,969,593	28,738,854

2 年度評価

評価区分	評価内容	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価
(1)市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。										
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。										
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。										
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。										
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。										
(2)財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか。										
	② 収入を増加するための取り組みがなされ、その効果があったか。										
	③ 管理運営経費を低減するための取組がなされ、その効果があったか。										
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。										
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。										
(3)業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。										
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めたとおり実施したか。										
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。										
	④ デジタル化への対応を行ったか。										
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。										
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。										
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。										
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。										
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。										
(4)人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。										
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。										
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。										
	④ 労働関係法令を遵守したか。										
総合評価	別紙のとおり										

### 3 改善指導状況

改善指導状況	年度	改善指導内容
	2～3	利用者の増加に繋がる方策を求めた。
	4～5	サービス向上に繋がる方策を求めた。
	4～5	ホームページ等を活用し、PRを図り利用者国保に向けた方策を求めた。
	4～5	施設内の感染症対策を徹底し、安心して通所できる環境づくりを求めた。

### 4 総括評価及び所見

評価基準による総括評価	評価区分	評価	施設所管課長 所見
	(1)市民の視点	B	・利用者からの声に応え、各種トレーニングの強化を図り、一般就労への移行実績を上げた。施設外就労先から作業の正確性が評価され、安定した作業量の確保や利用者工賃向上に繋がった。また、自主製品のエコバック等を作成、販売の取り組みを実施し売り上げ向上に繋げるなど、良好な管理運営が遂行できたと評価できる。
	(2)財務の視点	B	
	(3)業務の視点	B	
	(4)人材の視点	B	
<b>総括評価</b>	<b>B</b>		

#### ☆評価基準

総括評価【参考】	評価基準
S（優良）	B・Cがなく、Sが2つ以上の場合
A（良好）	B・Cがない場合
B（一部改善）	Cがなく、Bが1つ以上の場合
C（抜本的改善）	上記以外

### 5 選定委員会による総括評価

選定委員による評価について、指定管理期間の全体を通して運営上の改善がみられた場合や、施設の事情などを鑑みて評価します。なお、評価基準による評価は行いません。

<b>総括評価</b>	<b>B</b>	<b>委員会所見</b>	所管課長所見のとおり
-------------	----------	--------------	------------

施設状況・事業収支

	利用区分等(単位)	平成31年度実績	平成30年度実績	30—31比較	
施設利用状況	施設利用状況合計(延べ人数)	8,543	8,942	95.5%	
	りんごの木共同作業所 利用者数	2,710	2,878	94.2%	
	びあワーク就労支援施設 利用者数	5,833	6,064	96.2%	
利用料金	利用料金合計(円)(利用者負担金)				

2 事業の実施状況

判定 ◎…良い ○…普通 △…劣る

評価区分	評価内容	市民の意見	サービスの向上							評価
(1)市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	△	△							B
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	◎	◎							
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。	◎	◎							
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。	◎	◎							
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。	◎	◎							
(2)財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか。	◎	◎							A
	② 収入を増加するための取り組みがなされ、その効果があったか。	◎	◎							
	③ 管理運営経費を低減するための取組がなされ、その効果があったか。	◎	◎							
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	◎	◎							
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	◎	◎							
(3)業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	◎	◎							A
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	◎	◎							
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	○	○							
	④ デジタル化への対応を行ったか。	◎	◎							
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	◎	◎							
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	◎	◎							
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	◎	◎							
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	◎	◎							
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	◎	◎							
(4)人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	◎	◎							A
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	◎	◎							
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	◎	◎							
	④ 労働関係法令を遵守したか。	◎	◎							

## 施設状況・事業収支

	利用区分等(単位)	令和2年度実績	平成31年度実績	31—2比較	
施設利用状況	施設利用状況合計(延べ人数)	7,993	8,298	96.3%	
	りんごの木共同作業所 利用者数	2,282	2,710	84.2%	
	びあワーク就労支援施設 利用者数	5,711	5,588	102.2%	
利用料金	利用料金合計(円)(利用者負担金)				

## 2 事業の実施状況

判定 ◎…良い ○…普通 △…劣る

評価区分	評価内容	市民の生活改善	環境の保全	経済の発展	社会の安定	文化の振興	国土の形成	防災・減災	その他	評価
(1)市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	△	○							B
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	◎	◎							
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。	◎	◎							
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。	◎	◎							
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。	◎	◎							
(2)財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか。	○	○							A
	② 収入を増加するための取り組みがなされ、その効果があったか。	○	○							
	③ 管理運営経費を低減するための取組がなされ、その効果があったか。	○	○							
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	○	○							
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	○	○							
(3)業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	○	○							A
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	○	○							
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	○	○							
	④ デジタル化への対応を行ったか。	○	○							
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	○	○							
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	○	○							
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	○	○							
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	○	○							
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	○	○							
(4)人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	○	○							A
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	○	○							
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	○	○							
	④ 労働関係法令を遵守したか。	○	○							

## 施設状況・事業収支

	利用区分等(単位)	令和3年度実績	令和2年度実績	2—3比較	
施設利用状況	施設利用状況合計(延べ人数)	7,056	7,993	88.3%	
	りんごの木共同作業所 利用者数	1,935	2,282	84.8%	
	びあワーク就労支援施設 利用者数	5,121	5,711	89.7%	
利用料金	利用料金合計(円)(利用者負担金)				

## 2 事業の実施状況

判定 ◎…良い ○…普通 △…劣る

評価区分	評価内容	りんごの木共同作業所	びあワーク就労支援施設								評価
(1)市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	△	△								B
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○	○								
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。	○	○								
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。	○	○								
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。	○	○								
(2)財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか。	○	○								A
	② 収入を増加するための取り組みがなされ、その効果があったか。	○	○								
	③ 管理運営経費を低減するための取組がなされ、その効果があったか。	○	○								
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	○	○								
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	○	○								
(3)業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	○	○								A
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	○	○								
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	○	○								
	④ デジタル化への対応を行ったか。	△	△								
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	○	○								
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	○	○								
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	○	○								
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	○	○								
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	○	○								
(4)人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	○	○								A
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	○	○								
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	○	○								
	④ 労働関係法令を遵守したか。	○	○								

## 施設状況・事業収支

	利用区分等(単位)	令和4年度実績	令和3年度実績	3—4比較	
施設利用状況	施設利用状況合計(延べ人数)	7,376	7,056	104.5%	
	りんごの木共同作業所 利用者数	1,840	1,935	95.1%	
	びあワーク就労支援施設 利用者数	5,536	5,121	108.1%	
利用料金	利用料金合計(円)(利用者負担金)				

## 2 事業の実施状況

判定 ◎…良い ○…普通 △…劣る

評価区分	評価内容	りんごの木共同作業所	びあワーク就労支援施設								評価
(1)市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	○	○								B
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○	○								
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。	○	○								
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。	○	○								
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。	○	○								
(2)財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか。	○	○								B
	② 収入を増加するための取り組みがなされ、その効果があったか。	○	○								
	③ 管理運営経費を低減するための取組がなされ、その効果があったか。	○	○								
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	○	○								
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	○	○								
(3)業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	○	○								B
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	○	○								
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	○	○								
	④ デジタル化への対応を行ったか。	○	○								
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	○	○								
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	○	○								
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	○	○								
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	○	○								
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	○	○								
(4)人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	○	○								B
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	○	○								
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	○	○								
	④ 労働関係法令を遵守したか。	○	○								

施設状況・事業収支

	利用区分等(単位)	令和5年度実績	令和4年度実績	4—5比較	
施設利用状況	施設利用状況合計(延べ人数)	7,750	7,376	105.1%	
	りんごの木共同作業所 利用者数	1,867	1,840	101.5%	
	びあワーク就労支援施設 利用者数	5,883	5,536	106.3%	
利用料金	利用料金合計(円)(利用者負担金)				

2 事業の実施状況

判定 ◎・・・良い ○・・・普通 △・・・劣る

評価区分	評価内容	りんごの木共同作業所	びあワーク就労支援施設								評価
(1)市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	○	○								B
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○	○								
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。	○	○								
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。	○	○								
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。	○	○								
(2)財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか。	○	○								B
	② 収入を増加するための取り組みがなされ、その効果があったか。	○	○								
	③ 管理運営経費を低減するための取組がなされ、その効果があったか。	○	○								
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	○	○								
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	○	○								
(3)業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	○	○								B
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	○	○								
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	○	○								
	④ デジタル化への対応を行ったか。	△	△								
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	○	○								
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	○	○								
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	○	○								
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	○	○								
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	○	○								
(4)人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	○	○								B
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	○	○								
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	○	○								
	④ 労働関係法令を遵守したか。	○	○								

# 指定管理者事業評価 総括評価調書

## 1 施設状況・事業収支

		調書作成年度		令和6年度			
施設名称	中野市農村環境改善センター帯の瀬ハイツ	所管部課		経済部農業振興課			
指定管理者	公益社団法人中野広域シルバー人材センター	作成者		田中			
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	利用料金		不採用(指定管理料あり)			
施設設置目的	農業に従事する者並びに市民の相互理解と連携を図り地域農業や市民生活の向上に資するため。						
施設の概要	和室会議室、和室小会議室、小会議室、生活研修室、調理実習室、多目的ホール						
主な実施事業	貸館事業、指定管理者による自主事業(帯の瀬の日、売店設置、健康教室、開放市民の日等)						
施設利用状況	利用区分等(単位)	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	利用者数(人)	8,731	4,171	5,101	5,753	6,625	
	施設利用日数(日)	214	177	214	263	265	
委託料	指定管理料						
市収入額 (使用料等)	年度	収入	指定期間 事業収支	年度	収入	支出	収支
	平成31年度	141,850		平成31年度	10,197,000	10,187,068	9,932
	令和2年度	63,035		令和2年度	10,233,932	10,233,939	-7
	令和3年度	75,245		令和3年度	10,294,438	10,289,489	4,949
	令和4年度	94,230		令和4年度	10,369,304	10,330,699	38,605
	令和5年度	103,030		令和5年度	10,406,005	10,406,005	0

## 2 年度評価

評価区分	評価内容	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度					
		判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価				
(1)市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	△		△		◎		○		○					
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○		○		○		○		○					
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。	○	B	○	B	○	A	○	A	○	B				
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。	○		○		◎		◎		○					
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。	○		○		○		○		○					
(2)財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか。	○		○		○		○		○					
	② 収入を増加するための取り組みがなされ、その効果があったか。	○		○		○		○		○					
	③ 管理運営経費を低減するための取組がなされ、その効果があったか。	○	A	○	B	○	A	◎	B	○	B				
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確に適切に管理されているか。	○		○		○		○		○					
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	○		○		○		○		○					
(3)業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	○		○		○		◎		○					
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	○		○		○		○		○					
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	○		○		○		○		○					
	④ デジタル化への対応を行ったか。	○		○		○		○		○					
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	○	A	○	A	○	A	◎	A	◎	A				
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	○		○		○		○		○					
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	○		○		○		◎		◎					
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	○		○		○		○		○					
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	○		○		○		○		○					
(4)人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	○		○		○		○		○					
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	○	A	○	A	○	A	○	B	○	B				
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	○		○		○		○		○					
	④ 労働関係法令を遵守したか。	○		○		○		○		○					
総合評価			B			B			A			B			B

### 3 改善指導状況

改善指導状況	年度	改善指導内容
	H31	年々利用者が減少しているため、当施設の新たな利用者層を研究し利用者の増加に努めてください。 なお、利用者の増加が見込めない場合は、当施設の在り方を研究することとする。
	R2	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け4～6月の利用者数の大幅な減少に影響を与えた。今後の状況にも注意してもらいながら、利用者アンケートをもとに利用者の求めるイベント等をさらに研究してください。
	R3	—
	R4	—
	R5	—

### 4 総括評価及び所見

評価基準による総括評価	評価区分	評価	施設所管課長 所見
	(1)市民の視点	B	さらなる利用促進に向け、自主事業による利用者の増加を望む
	(2)財務の視点	B	
	(3)業務の視点	A	
	(4)人材の視点	B	
	<b>総括評価</b>	<b>B</b>	

#### ☆評価基準

総括評価【参考】	評価基準
S（優良）	B・Cがなく、Sが2つ以上の場合
A（良好）	B・Cがない場合
B（一部改善）	Cがなく、Bが1つ以上の場合
C（抜本的改善）	上記以外

### 5 選定委員会による総括評価

選定委員による評価について、指定管理期間の全体を通して運営上の改善がみられた場合や、施設の事情などを鑑みて評価します。なお、評価基準による評価は行いません。

<b>総括評価</b>	<b>B</b>	<b>委員会所見</b>	施設所管課長所見のとおり
-------------	----------	--------------	--------------

指定管理者事業評価 総括評価調書

1 施設状況・事業収支

		調書作成年度	令和6年度				
施設名称	中野市豊田農産物加工施設	所管部課	経済部農業振興課				
指定管理者	中野市豊田農産物加工施設利用組合	作成者	田中				
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日	利用料金	採用(指定管理料なし)				
施設設置目的	地域農業振興の向上に寄与することを目的として、農産物加工施設を設置する。						
施設の概要	加工室、研修室、材料搬入室、材料庫、熟成室						
主な実施事業	おやき・アップルパイ・味噌等加工品の製造販売、体験受け入れ						
施設利用状況	利用区分等(単位)	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	利用者数(延人数)	3,222	2,400	2,340	2,486	2,357	
	おやき部	1,339	934	832	871	819	
	菓子部	1,235	977	1,080	1,166	1,147	
	味噌部・惣菜班	648	489	428	449	391	
委託料	指定管理料						
市収入額 (使用料等)	年度	収入	指定期間 事業収支	年度	収入	支出	収支
		平成31年度		0	平成31年度	4,643,100	4,655,089
	令和2年度	0		令和2年度	4,099,301	3,970,911	128,390
	令和3年度	0		令和3年度	3,841,314	3,484,136	357,178
	令和4年度	0		令和4年度	3,867,143	3,441,300	425,843
	令和5年度	0		令和5年度	3,798,771	4,033,361	-234,590
(単位:円)		(単位:円)					

2 年度評価

評価区分	評価内容	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価
(1)市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	△		△		○		○		○	
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○		○		○		○		○	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。	○	B	○	B	○	A	○	B	○	B
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。	○		○		◎		○		○	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。	○		○		○		○		○	
(2)財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか。	○		◎		○		○		○	
	② 収入を増加するための取り組みがなされ、その効果があったか。	○		○		◎		○		○	
	③ 管理運営経費を低減するための取組がなされ、その効果があったか。	○	B	○	A	◎	A	○	B	○	A
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	○		○		○		△		○	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	○		○		○		○		○	
(3)業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	○		○		◎		○		○	
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	○		○		○		○		○	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	○		○		○		○		△	
	④ デジタル化への対応を行ったか。	○		○		○		○		○	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	○	A	○	A	○	A	○	B	○	B
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	○		○		○		×		○	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	○		○		○		○		○	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	○		○		○		×		○	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	○		○		○		○		○	
(4)人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	○		○		○		○		○	
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	○	A	○	A	○	A	○	B	○	B
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	○		○		○		○		○	
	④ 労働関係法令を遵守したか。	○		○		○		○		○	
総合評価		B		B		A		B		B	

### 3 改善指導状況

改善指導状況	年度	改善指導内容
	H31	利用料金を得るため、外部の方に向け施設の利用を呼びかけてください。 また、新規の販売者を拡大し発注量、利用者の増加を図ってください。
	R2	今後も新型コロナウイルス感染拡大の影響があると予測されるが、引き続き加工品の販路拡大等に努め地域農業振興の向上のため取り組んでください。
	R3	—
	R4	緊急連絡網は整備されているが、防災訓練が行われていないため、実施されるように指導する方針。個人情報保護責任者は定められているが、そのほかの体制が整えられていないため、責任者の指示のもと体制整備されるように指導する。
	R5	市への提出書類について内容不備が散見され、その都度、修正を依頼しているが、不明な点については、事前に市に確認をしたうえで、書類の作成してください。

### 4 総括評価及び所見

評価基準による総括評価	評価区分	評価	施設所管課長 所見
	(1)市民の視点	B	危機管理、個人情報の取り扱いについては、R5に体制を整備し、管理業務の質は向上している。自主事業についても新たな取り組みを始め ており意欲的に取り組んでいると感じている。
	(2)財務の視点	B	
	(3)業務の視点	B	
	(4)人材の視点	B	
	<b>総括評価</b>	<b>B</b>	

#### ☆評価基準

総括評価【参考】	評価基準
S（優良）	B・Cがなく、Sが2つ以上の場合
A（良好）	B・Cがない場合
B（一部改善）	Cがなく、Bが1つ以上の場合
C（抜本的改善）	上記以外

### 5 選定委員会による総括評価

選定委員による評価について、指定管理期間の全体を通して運営上の改善がみられた場合や、施設の事情などを鑑みて評価します。なお、評価基準による評価は行いません。

<b>総括評価</b>	<b>B</b>	<b>委員会所見</b>	施設所管課長所見のとおり
-------------	----------	--------------	--------------

# 指定管理者事業評価 総括評価調書

## 1 施設状況・事業収支

		調書作成年度		令和6年度			
施設名称	中野陣屋・県庁記念館	所管部課		経済部商工観光課			
指定管理者	一般財団法人 信州なかの産業・観光公社	作成者		綿貫			
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）	利用料金		なし			
施設設置目的	歴史及び文化とのふれあいを通じ商業の振興を図る。						
施設の概要	コミュニティールーム、常設展示室、資料展示室、会議室、土蔵資料館、カフェ						
主な実施事業	管理運営事業、指定管理者による自主事業（喫茶事業、陣屋特別展、ミニギャラリー展示）						
施設利用状況	利用区分等(単位)	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	利用者数(人)	30,903	17,464	21,257	31,186	35,300	
委託料	指定管理料						
市収入額 (使用料等)	年度	収入	指定期間 事業収支	年度	収入	支出	収支
	平成31年度	39,000		平成31年度	14,134,960	14,351,940	-216,980
	令和2年度	39,000		令和2年度	13,397,876	13,554,568	-156,692
	令和3年度	45,000		令和3年度	13,120,157	13,860,601	-740,444
	令和4年度	49,800		令和4年度	14,068,917	15,023,530	-954,613
	令和5年度	45,000		令和5年度	15,382,647	15,898,007	-515,360

## 2 年度評価

評価区分	評価内容	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価
(1)市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	△		△		◎		◎		○	
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	◎		○		○		○		○	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。	◎	B	○	B	○	A	○	B	○	B
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。	◎		○		○		○		○	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。	○		○		○		○		○	
(2)財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか。	○		○		○		△		○	
	② 収入を増加するための取り組みがなされ、その効果があったか。	○		○		○		△		○	
	③ 管理運営経費を低減するための取組がなされ、その効果があったか。	○	B	○	A	○	A	○	B	○	B
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	○		○		○		○		○	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	○		○		○		○		○	
(3)業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	◎		◎		○		○		○	
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	○		○		○		○		○	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	○		○		○		○		○	
	④ デジタル化への対応を行ったか。	○		○		○		○		○	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	○	A	○	A	○	A	○	A	○	A
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	◎		◎		○		○		○	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	○		○		○		○		○	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	○		○		○		○		○	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	○		○		○		○		◎	
(4)人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	○		○		○		○		○	
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	○	A	○	A	○	A	○	B	○	B
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	○		○		○		○		○	
	④ 労働関係法令を遵守したか。	○		○		○		○		○	
総合評価		B		B		A		B		B	

### 3 改善指導状況

改善指導状況	年度	改善指導内容
	2	新型コロナウイルス感染症の影響による市からの休館要請や観光客の自粛等により、利用者が大幅に減少していることは、やむを得ないと考えられる。今後も、来館しやすい施設づくり、積極的なPRを実施し、来館者の増加を図ってほしい。
	4	来館しやすい施設づくり、積極的なPRを実施し、来館者の増加を図り、収益を上げるように努めてほしい。新規のイベントに参加し、収益を増加するための取組みを行っていることなどから、今後も収益が増加するようなイベントを開催するなどし、収益の増加に努めてほしい。
	5	来館しやすい施設づくり、積極的なPRを実施し、来館者の増加を図り、収益を上げるように努めてほしい。
	5	新規のイベントに参加し、収益を増加するための取組みを行っていることなどから、今後も収益が増加するようなイベントを開催するなどし、収益の増加に努めてほしい。

### 4 総括評価及び所見

評価基準による総括評価	評価区分	評価	施設所管課長 所見
	(1)市民の視点	B	当該指定管理期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響による市からの休館要請や観光客の自粛等により、利用者が大幅に減少していることは、やむを得ないと考えられる。 なお、コロナ禍後については、新規の自主事業やイベントを行って利用客の増加に努めていることから、今後も引き続き利用者の増加に向けた取り組みを継続してほしい。
	(2)財務の視点	B	
	(3)業務の視点	A	
	(4)人材の視点	B	
<b>総括評価</b>	<b>B</b>		

#### ☆評価基準

総括評価【参考】	評価基準
S（優良）	B・Cがなく、Sが2つ以上の場合
A（良好）	B・Cがない場合
B（一部改善）	Cがなく、Bが1つ以上の場合
C（抜本的改善）	上記以外

### 5 選定委員会による総括評価

選定委員による評価について、指定管理期間の全体を通して運営上の改善がみられた場合や、施設の事情などを鑑みて評価します。なお、評価基準による評価は行いません。

<b>総括評価</b>	<b>B</b>	<b>委員会所見</b>	施設所管課長所見のとおり
-------------	----------	--------------	--------------

# 指定管理者事業評価 総括評価調書

## 1 施設状況・事業収支

		調書作成年度	令和6年度				
施設名称	中野市観光会館・日本土人形資料館	所管部課	商工観光課				
指定管理者	一般財団法人 信州なかの産業・観光公社	作成者	遠藤				
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで	利用料金	なし				
施設設置目的	中野土人形と全国の土人形の展示と絵付け体験の普及						
施設の概要	鉄筋コンクリート造平屋建(展示室・体験室・茶室・会議室・トイレ・事務室・倉庫・前庭・駐車場)						
主な実施事業	土人形の展示と絵付け体験、管理運営事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	利用者数(人)	5,392	2,727	2,611	4,434	3,593	
	絵付け体験者数(人)	2,037	701	651	1,161	1,021	
委託料	指定管理料						
市収入額 (使用料等)  (単位:円)	年度	収入	指定期間 事業収支  (単位:円)	年度	収入	支出	収支
	平成31年度	617,390		平成31年度	7,950,987	9,005,336	-1,054,349
	令和2年度	312,720		令和2年度	10,120,523	9,589,639	530,884
	令和3年度	315,100		令和3年度	12,944,369	9,516,256	3,428,113
	令和4年度	779,420		令和4年度	10,405,893	9,694,410	711,483
	令和5年度	460,450		令和5年度	10,348,596	10,426,022	-77,426

## 2 年度評価

評価区分	評価内容	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価
(1)市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	△		△		○		◎		△	
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○		○		○		○		○	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。	○	B	○	B	○	A	○	B	○	B
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。	○		○		○		○		○	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。	○		○		○		○		○	
(2)財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか。	○		○		○		×		×	
	② 収入を増加するための取り組みがなされ、その効果があったか。	○		○		○		△		△	
	③ 管理運営経費を低減するための取組がなされ、その効果があったか。	○	A	○	A	○	A	○	B	○	B
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	○		○		○		○		○	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	○		○		○		○		○	
(3)業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	○		○		○		○		○	
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	○		○		○		○		○	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	○		○		○		○		○	
	④ デジタル化への対応を行ったか。	○		○		○		○		○	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	○	A	○	A	○	A	○	A	△	B
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	○		○		○		○		○	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	○		○		○		◎		○	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	○		○		○		○		○	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	○		○		○		○		○	
(4)人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	○		○		○		○		○	
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	○	A	○	A	○	A	○	B	○	B
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	○		○		○		○		○	
	④ 労働関係法令を遵守したか。	○		○		○		○		○	
総合評価		B		B		A		B		B	

### 3 改善指導状況

改善指導状況	年度	改善指導内容
	H31	お土産の品揃えや絵付け体験のPRにより入場者増につなげるよう指導したが、翌年度はコロナの影響で入館者数半減した。
	2	コロナ禍だが積極的なPRと旅行会社等にも働きかけ集客増に努める指導に対し、出張絵付け体験は減少したものの、創作土人形のPRや新商品の開発に努めた。
	4	来館者はR3より増加したが客足の回復はまだであるため、イベント開催等で来館者増加と収益を上げるよう指導したが、翌年度は旅行会社側の都合により絵付け体験をツアーに盛り込めず収益向上に至らなかった。
	4	収益向上への指導に対し、気軽に体験できる絵付け体験用の土人形を追加したが諸事情による団体客のキャンセルが伴い向上できなかった。
	5	集客を取り戻すべく効果的なイベント開催と積極的なPRに努める。
	5	引き続き企画展での展示の工夫やイベントへの出店等で来館者増かと収益を上げるように努める
	5	2年連続で収益向上に至らなかったため、より具体的で実行可能な計画を立てるよう指導した

### 4 総括評価及び所見

評価基準による総括評価	評価区分	評価	施設所管課長 所見
	(1)市民の視点	B	指定期間中はコロナ禍での運営で大変だったが、土人形師と密に連絡をとり、企画展の実施や新商品の販売、絵付け体験を出張型にしてPRを行い、情報発信も都度行っていたことは評価できる。目標とする自主事業収入に至らなかった要因としては、利用者ニーズの変化が考えられるため、以前の事業内容をひと工夫し継続するだけでなく、新たな試みで収入が確保できる戦略も必要であったと考えられる。
	(2)財務の視点	A	
	(3)業務の視点	A	
	(4)人材の視点	A	
	<b>総括評価</b>	<b>B</b>	

#### ☆評価基準

総括評価【参考】	評価基準
S（優良）	B・Cがなく、Sが2つ以上の場合
A（良好）	B・Cがない場合
B（一部改善）	Cがなく、Bが1つ以上の場合
C（抜本的改善）	上記以外

### 5 選定委員会による総括評価

選定委員による評価について、指定管理期間の全体を通して運営上の改善がみられた場合や、施設の事情などを鑑みて評価します。なお、評価基準による評価は行いません。

<b>総括評価</b>	<b>B</b>	<b>委員会所見</b>	施設所管課長所見のとおり
-------------	----------	--------------	--------------

# 指定管理者事業評価 総括評価調書

## 1 施設状況・事業収支

		調書作成年度	令和6年度				
施設名称	中野市観光特産館(信州なかの観光センター)	所管部課	商工観光課				
指定管理者	一般財団法人 信州なかの産業・観光公社	作成者	雲 晴香				
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで	利用料金	なし				
施設設置目的	恵まれた自然条件及び地域特性を生かした観光並びに地場産業の振興を図る						
施設の概要	鉄筋造平屋建(ホール、事務室、トイレ、倉庫、駐車場)						
主な実施事業	管理運営事業・自主事業(アンテナショップ事業、売店事業、イベント事業)						
施設利用状況	利用区分等(単位)	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	利用者数(人)	32,493	18,160	19,351	24,424	23,917	
委託料	指定管理料						
市収入額 (使用料等)  (単位:円)	年度	収入	指定期間 事業収支  (単位:円)	年度	収入	支出	収支
	平成31年度	0		平成31年度	24,598,465	24,394,948	203,517
	令和2年度	0		令和2年度	27,542,647	27,335,388	207,259
	令和3年度	0		令和3年度	26,598,877	25,855,844	743,033
	令和4年度	0		令和4年度	27,867,896	26,877,144	990,752
	令和5年度	0		令和5年度	25,914,831	25,350,259	564,572

## 2 年度評価

評価区分	評価内容	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価
(1)市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	△		△		○		◎		○	
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○		○		○		○		○	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。	○	B	○	B	○	A	○	B	○	B
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。	○		○		○		○		○	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。	○		○		○		○		○	
(2)財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか。	○		◎		○		◎		○	
	② 収入を増加するための取り組みがなされ、その効果があったか。	○		○		◎		○		○	
	③ 管理運営経費を低減するための取組がなされ、その効果があったか。	○	A	○	B	○	A	○	A	○	B
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	○		○		○		○		○	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	○		○		○		○		○	
(3)業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	○		○		○		○		○	
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	○		○		○		○		○	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	○		○		○		○		○	
	④ デジタル化への対応を行ったか。	○		○		○		○		○	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	○	A	○	A	○	A	○	B	○	B
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	○		○		○		○		○	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	○		○		○		○		○	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	○		○		○		○		○	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	○		○		○		○		○	
(4)人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	○		○		○		○		○	
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	○		○		○		○		○	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	○	A	○	A	○	A	○	B	○	B
	④ 労働関係法令を遵守したか。	○		○		○		○		○	
総合評価		B		B		A		B		B	

## 3 改善指導状況

改善指導状況	年度	改善指導内容
	H31	SNS等を活用し市の観光情報を発信して誘客につながるPRを進めるよう指導した。翌年度頻繁にFacebookの投稿を行いフォロワー数が増加。
	R2	施設利用者増と積極的な情報発信への指導に対しInstagramを開設した。
	R2	通信販売事業がスムーズに回る体制づくりへの指導に対し、遅れていたアンテナショップへのデジタル化について揚年度キャッシュレス決裁を導入した。

#### 4 総括評価及び所見

評価基準による総括評価	評価区分	評価	施設所管課長 所見
	(1)市民の視点	B	指定管理業務、自主事業とも適切かつ柔軟に対応した。特に令和4年度、善光寺御開帳に合わせ実施した市内を巡るスタンプラリー用に制作したオリジナル土人形が予想以上に話題となり知名度向上に貢献した。
	(2)財務の視点	A	
	(3)業務の視点	A	
	(4)人材の視点	A	
<b>総括評価</b>	<b>B</b>		

#### ☆評価基準

総括評価【参考】	評価基準
S（優良）	B・Cがなく、Sが2つ以上の場合
A（良好）	B・Cがない場合
B（一部改善）	Cがなく、Bが1つ以上の場合
C（抜本的改善）	上記以外

#### 5 選定委員会による総括評価

選定委員による評価について、指定管理期間の全体を通して運営上の改善がみられた場合や、施設の事情などを鑑みて評価します。なお、評価基準による評価は行いません。

<b>総括評価</b>	<b>B</b>	<b>委員会所見</b>	施設所管課長所見のとおり
-------------	----------	--------------	--------------

## 指定管理者事業評価 総括評価調書

### 1 施設状況・事業収支

		調書作成年度	令和6年度				
施設名称	中野市地域職業訓練センター	所管部課	経済部商工観光課				
指定管理者	職業訓練法人 中高職業訓練協会	作成者	池田				
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	利用料金	採用(指定管理料なし)				
施設設置目的	地域における労働者、求職者等に対し、各種職業訓練を行い、職業の安定と労働者の地位向上を図るため						
施設の概要	鉄筋コンクリート造2階建【教室棟(第1～5研修室、多目的ホール、視聴覚室、事務室、調理室、和洋室、トイレ、倉庫)、実習棟(実技室、研修室、実習室、トイレ)、駐車場】						
主な実施事業	施設の管理業務、自主事業(職業能力開発校ほか)						
施設利用状況	利用区分等(単位)	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	利用者数(人)	33,521	18,063	24,341	24,991	25,217	
委託料	指定管理料	0	0	0	0	0	
市収入額 (使用料等)  (単位:円)	年度	収入	指定期間 事業収支  (単位:円)	年度	収入	支出	収支
	平成31年度	0		平成31年度	38,741,929	38,741,929	0
	令和2年度	0		令和2年度	37,981,372	37,981,372	0
	令和3年度	0		令和3年度	39,023,764	39,023,764	0
	令和4年度	0		令和4年度	42,304,711	42,304,711	0
	令和5年度	0		令和5年度	38,457,852	38,457,852	0

### 2 年度評価

評価区分	評価内容	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価
(1)市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	◎		△		◎		○		○	
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	◎		◎		◎		○		○	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。	○	S	○	B	○	S	○	B	○	B
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。	○		◎		◎		○		◎	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。	◎		○		○		○		○	
(2)財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか。	○		○		○		△		△	
	② 収入を増加するための取り組みがなされ、その効果があったか。	○		○		○		○		○	
	③ 管理運営経費を低減するための取組がなされ、その効果があったか。	○	A	○	A	○	A	◎	B	○	B
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	○		○		○		○		○	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	○		○		○		○		○	
(3)業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	○		○		○		○		○	
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	○		○		○		○		○	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	○		○		○		○		○	
	④ デジタル化への対応を行ったか。	○		○		○		○		○	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	○	A	○	A	○	A	◎	A	○	A
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	○		○		○		○		○	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	○		○		○		◎		◎	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	○		○		○		○		○	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	○		○		○		○		○	
(4)人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	○		○		○		○		○	
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	○	A	○	A	○	A	○	A	○	A
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	○		○		○		○		○	
	④ 労働関係法令を遵守したか。	○		○		○		○		○	
総合評価		A		B		A		B		B	

### 3 改善指導状況

改善指導状況	年度	改善指導内容
	R3	自主事業による講座受講者の確保
	R3	定時制通信制高校生への資格取得講座
	R3	企業向けオーダーコースの企画
	R3	コワーキングスペース利用者数の増大
	R5	新型コロナによる各研修室の定員制限があったが、新たな利用者層を開拓するなどし、収益の向上に努められたい。

### 4 総括評価及び所見

評価基準による総括評価	評価区分	評価	施設所管課長 所見
	(1)市民の視点	B	利用者数及び収入面について、新型コロナによる各研修室の定員制限が想定よりも長引いたことが原因ととらえているが、パソコン講座で再就職応援プランを作成するなど、受講しやすい環境の提供が図れている。 利用状況に大きな影響を与える公共職業訓練(3か月訓練)をはじめ、多くの企画講座を実施した。また、女性のための就職支援セミナー&パソコン講座も受講者は増加し、センター自主事業で企画した講座での利用者はどれも増加した。
	(2)財務の視点	B	
	(3)業務の視点	A	
	(4)人材の視点	A	
<b>総括評価</b>	<b>B</b>		

☆評価基準

総括評価【参考】	評価基準
S (優良)	B・Cがなく、Sが2つ以上の場合
A (良好)	B・Cがない場合
B (一部改善)	Cがなく、Bが1つ以上の場合
C (抜本的改善)	上記以外

### 5 選定委員会による総括評価

選定委員による評価について、指定管理期間の全体を通して運営上の改善がみられた場合や、施設の事情などを鑑みて評価します。なお、評価基準による評価は行いません。

<b>総括評価</b>	<b>B</b>	<b>委員会所見</b>	施設所管課長所見のとおり
-------------	----------	--------------	--------------

指定管理者事業評価 総括評価調書

1 施設状況・事業収支

		調書作成年度		令和6年度			
施設名称	中野市まちなか交流の家	所管部課		商工観光課			
指定管理者	なつちよ合同会社	作成者		遠藤			
指定期間	令和3年4月1日から令和6年3月31日まで	利用料金		なし			
施設設置目的	土人形の振興を通じて市街地の活性化に資する						
施設の概要	体験室、焼窯室、トイレ、台所、事務室、倉庫						
主な実施事業	施設管理、絵付け指導、施設内・出張絵付け体験、土人形制作販売、付随品の販売、中野土人形販売						
施設利用状況	利用区分等(単位)	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	利用者数(人)			952	1,039	1,899	
	絵付け体験者数(人)			1,342	1,653	1,827	
委託料	指定管理料						
市収入額 (使用料等)  (単位:円)	年度	収入	指定期間 事業収支  (単位:円)	年度	収入	支出	収支
				平成31年度			0
	令和2年度				0		
	令和3年度	0		10,394,900	9,625,542	769,358	
	令和4年度	0		11,206,211	11,377,533	-171,322	
	令和5年度	0		10,981,012	11,011,896	-30,884	

2 年度評価

評価区分	評価内容	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価
(1)市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。					◎		○		◎	
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。					○		◎		○	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。					—	A	○	B	○	A
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。					◎		○		○	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。					○		○		○	
(2)財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか。					○		○		○	
	② 収入を増加するための取り組みがなされ、その効果があったか。					◎		○		○	
	③ 管理運営経費を低減するための取組がなされ、その効果があったか。					○	S	○	B	○	A
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。					◎		○		○	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。					◎		○		○	
(3)業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。					○		○		○	
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。					○		○		○	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。					○		○		○	
	④ デジタル化への対応を行ったか。					○		○		◎	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。					◎	A	○	A	◎	A
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。					○		○		○	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。					○		○		◎	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。					○		○		○	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。					○		○		○	
(4)人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。					○		○		○	
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。					○	A	○	B	○	A
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。					○		○		○	
	④ 労働関係法令を遵守したか。					◎		○		○	
総合評価							A	B		B	

### 3 改善指導状況

改善指導状況	年度	改善指導内容

### 4 総括評価及び所見

評価基準による総括評価	評価区分	評価	施設所管課長 所見
	(1)市民の視点	A	新商品の発売や積極的な出張絵付け体験の成果がみられ自主事業収入につながっているほか、利用者からのアンケート評価も良いことから土人形の振興に関して良好な評価と言える。 本施設は土人形の振興を通じた市街地の活性化を設置目的としているため、絵付け体験者のまちなかへの流れだけでなく、施設を拠点とした街中での交流等のイベント開催があればさらに評価できた。
	(2)財務の視点	A	
	(3)業務の視点	A	
	(4)人材の視点	A	
<b>総括評価</b>	<b>A</b>		

#### ☆評価基準

総括評価【参考】	評価基準
S（優良）	B・Cがなく、Sが2つ以上の場合
A（良好）	B・Cがない場合
B（一部改善）	Cがなく、Bが1つ以上の場合
C（抜本的改善）	上記以外

### 5 選定委員会による総括評価

選定委員による評価について、指定管理期間の全体を通して運営上の改善がみられた場合や、施設の事情などを鑑みて評価します。なお、評価基準による評価は行いません。

<b>総括評価</b>	<b>A</b>	<b>委員会所見</b>	施設所管課長所見のとおり
-------------	----------	--------------	--------------

指定管理者事業評価 総括評価調書

1 施設状況・事業収支

		調書作成年度		令和6年度			
施設名称	中野市豊田ふるさと交流館	所管部課		経済部商工観光課			
指定管理者	株式会社 斑尾	作成者		石川			
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	利用料金		指定管理料			
施設設置目的	市民の世代間、地域づくり団体等の交流の中核施設として活用を図り、都市住民との交流の促進及び文化及び経済の向上を目指し、地域社会の活性化に資することを目的として、交流館を設置する。						
施設の概要	道の駅、交流館、特産品販売コーナー、農産物直売所、トイレ						
主な実施事業	道の駅、交流館、特産品販売コーナー、農産物直売所、食堂						
施設利用状況	利用区分等(単位)	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	総合計(人)	170,867	120,228	138,791	178,939	190,359	
	①食堂客数(人)	46,564	30,351	35,305	50,102	60,765	
	②売店客数(人)	38,074	23,344	26,907	38,986	38,342	
	③農産物直売所客数(人)	86,229	66,533	76,579	89,851	91,252	
委託料	指定管理料	2,853,454	3,167,588	3,167,588	3,167,588	5,563,588	
市収入額 (使用料等)	年度	収入	指定期間 事業収支	年度	収入	支出	収支
		平成31年度		0	平成31年度	106,251,758	103,903,850
	令和2年度	0		令和2年度	92,351,971	91,090,320	1,261,651
	令和3年度	0		令和3年度	135,150,071	116,636,781	18,513,290
	令和4年度	0		令和4年度	125,839,766	124,585,983	1,253,783
	令和5年度	0		令和5年度	134,510,730	131,813,877	2,696,853

2 年度評価

評価区分	評価内容	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価	判定	評価
(1)市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	○		△		◎		◎		○	
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○		○		○		○		○	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。	○	A	◎	B	○	A	○	B	○	B
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。	○		○		○		○		○	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。	○		○		○		○		○	
(2)財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか。	○		△		◎		△		○	
	② 収入を増加するための取り組みがなされ、その効果があったか。	○		○		○		○		○	
	③ 管理運営経費を低減するための取組がなされ、その効果があったか。	○	A	○	C	○	A	○	B	○	B
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	○		○		○		◎		◎	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	○		○		○		○		○	
(3)業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	○		○		○		◎		○	
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	○		○		○		◎		◎	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	○		○		○		○		△	
	④ デジタル化への対応を行ったか。	○		○		○		○		○	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	○	A	○	A	○	A	○	A	○	A
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	○		○		○		○		○	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	○		○		○		○		○	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	○		○		○		○		○	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	○		○		○		○		○	
(4)人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	○		○		○		○		○	
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	○	A	○	A	○	A	○	A	○	A
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	○		○		○		○		○	
	④ 労働関係法令を遵守したか。	○		○		○		○		○	
総合評価		A		C		A		B		B	

### 3 改善指導状況

改善指導状況	年度	改善指導内容
	平成31	なし
	令和2	新型コロナウイルス感染予防対策を徹底した施設の管理やアンケート回収率向上に努めて利用者の要望等を生かした施設運営を行うことを指導した。結果的に新型コロナウイルスの発生はなく、利用者数の増加につながった。
	令和3	なし
	令和4	イベント等の開催実施を図り、増収につながるよう指導し、翌年度に106%増の増収となった。
	令和5	年度報告書の提出に遅滞があったため、計画的に作成するように指導した。

### 4 総括評価及び所見

評価基準による総括評価	評価区分	評価	施設所管課長 所見
	(1)市民の視点	A	新型コロナウイルス感染症の影響下での指定管理者期間となり、R2年度には、その影響を最も受け、利用者数や収入にも大打撃を受けた。その中でも、黒字経営を維持し、R3年度には感染対策を徹底しながら、自主事業に努め、利用者数及び収入も復調させた企業努力を評価したい。また、その後も感染症の脅威に脅かされながらの管理運営となったが、堅調な実績を残せた。
	(2)財務の視点	C	
	(3)業務の視点	A	
	(4)人材の視点	A	
<b>総括評価</b>	<b>C</b>		

☆評価基準

総括評価【参考】	評価基準
S（優良）	B・Cがなく、Sが2つ以上の場合
A（良好）	B・Cがない場合
B（一部改善）	Cがなく、Bが1つ以上の場合
C（抜本的改善）	上記以外

### 5 選定委員会による総括評価

選定委員による評価について、指定管理期間の全体を通して運営上の改善がみられた場合や、施設の事情などを鑑みて評価します。なお、評価基準による評価は行いません。

<b>総括評価</b>	<b>C</b>	<b>委員会所見</b>	施設所管課長 所見のとおり
-------------	----------	--------------	---------------

指定管理者事業評価 総括評価調書

1 施設状況・事業収支

		調書作成年度		令和6年度			
施設名称	一本木公園ほか2施設	所管部課		都市建設課			
指定管理者	一般社団法人 一本木公園パラの会	作成者		小松			
指定期間	令和3年4月1日から令和6年3月31日まで	利用料金		指定管理料			
施設設置目的	公共の福祉の増進に資するため						
施設の概要	一本木公園：多目的広場、修景広場、野外ステージ、遊戯広場、林間プロムナード、あずまや(全体面積：3.4ha) 一本木公園展示館、一本木公園中野小学校旧校舎・信州中野銅石版画ミュージアム						
主な実施事業	施設及び設備の維持管理業務、施設における行為の許可に関する業務及び自主事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和◇年度	令和○年度	
	一本木公園展示館来館者数(人)	1,216	11,719	18,658			
	一本木公園中野小学校旧校舎・信州中野銅石版画ミュージアム来館者数(人)	2,562	12,274	23,178			
委託料	指定管理料	31,100,000	31,100,000	31,100,000			
市収入額 (使用料等)	年度	収入	指定期間 事業収支	年度	収入	支出	収支
	令和3年度	18,480	(単位：円)	令和3年度	32,224,496	30,021,729	2,202,767
	令和4年度	27,235		令和4年度	33,462,200	31,435,080	2,027,120
	令和5年度	54,740		令和5年度	33,321,160	31,156,818	2,164,342
	令和◇年度			令和◇年度			0
	令和○年度			令和○年度			0

2 年度評価

評価区分	評価内容	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和◇年度		令和○年度	
		判定	評価								
(1)市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	◎		◎		◎					
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○		○		○					
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。	○	B	○	B	○	B				
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。	○		○		○					
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。	○		○		○					
(2)財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか。	○		◎		○					
	② 収入を増加するための取り組みがなされ、その効果があったか。	○		○		○					
	③ 管理運営経費を低減するための取組がなされ、その効果があったか。	○	A	○	A	○	A				
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	○		◎		◎					
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	○		○		○					
(3)業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	○		○		○					
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	○		○		○					
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	○		○		○					
	④ デジタル化への対応を行ったか。	○		○		○					
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	○	A	○	B	○	A				
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	○		○		○					
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	○		○		◎					
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	○		○		○					
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	○		○		○					
(4)人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	○		○		○					
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	○	A	○	B	○	A				
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	○		○		○					
	④ 労働関係法令を遵守したか。	○		○		○					
総合評価											

### 3 改善指導状況

改善指導状況	年度	改善指導内容

### 4 総括評価及び所見

評価基準による総括評価	評価区分	評価	施設所管課長 所見
	(1)市民の視点	B	新型コロナウイルス感染症に伴う行動規制等により令和元年度以降大幅に来館者数が減少し、令和2年度にはバラまつりを中止する等多大な影響を受けたが、感染対策のもと自主事業を徐々に再開し、また近年はマルシェや大規模イベントの開催等、新たな公園利用も行われ、令和5年度にはコロナ禍前の平成30年度を上回る来館者数を得ることができた。 このような不安定な状況下にあっても適切な公園管理及び植栽管理を行い、収支についても健全に運営できたことを評価し、全体総括とする。
	(2)財務の視点	A	
	(3)業務の視点	B	
	(4)人材の視点	B	
<b>総括評価</b>	<b>B</b>		

#### ☆評価基準

総括評価【参考】	評価基準
S（優良）	B・Cがなく、Sが2つ以上の場合
A（良好）	B・Cがない場合
B（一部改善）	Cがなく、Bが1つ以上の場合
C（抜本的改善）	上記以外

### 5 選定委員会による総括評価

選定委員による評価について、指定管理期間の全体を通して運営上の改善がみられた場合や、施設の事情などを鑑みて評価します。なお、評価基準による評価は行いません。

<b>総括評価</b>	<b>B</b>	<b>委員会所見</b>	施設所管課長所見のとおり
-------------	----------	--------------	--------------